

令和元年度

特色ある公民館事業訪問

少年教育事業【自由アートの時間】

訪問日：令和元年9月14日（土）

場 所：福島市立子山自然の家

参加者：福島市内6館（松川、渡利、杉妻、
西、吾妻、飯野の各学習センター）少年学級生69名

福島市内の6館（松川、渡利、杉妻、西、吾妻、飯野の各学習センター）合同で、少年教育事業「自由アートの時間」を行いました。今回の事業は、世界的に活躍する有名アーティストの方々の協力や支援を得て開催され、今年で3年目になります。

個人アートでは、葉っぱや枝、木の実などを利用したお面を作りました。どの作品も個性あふれる出来映えて、アーティストの方々も、大人の想像を超える子どもたちの豊かな発想に目を細めていました。

また、団体アートでは、アーティストの方々と一緒に立子山自然の家の壁面に、アートデザインを描きました。アーティストの方々が描いた福島をイメージした下絵の上に、子どもたちが作成した建物の形を絵の具で重ねていきます。子どもたちが色を重ねる度に、美しい自然に抱かれた自分たちの町ができていきました。完成したアート作品を見た子どもたちは、笑顔いっぱいです。秋空のもと、そんな子どもたちの様子を温かく見守るアーティストや担当職員の方々の姿がありました。

【参加した子どもたちの感想】

みんなで厚紙を切ったり、色をつけたりして、たくさんの家や建物を入れました。みんなの意見が集まったから、本当の町みたいになりました。（下絵に）いつも家から見える吾妻山の雪ウサギもあったので、そこに私たちの学校を入れました。とても、楽しかったです。

【アーティストの方々の声】

震災後の福島のために、何か力になりたいと思い、この事業に参加しています。子どもたちに、みんなで力を合わせてものを作る楽しさを味わってもらえたら嬉しいです。楽しいことを楽しいと感じる気持ちを持ち続けてほしいと思います。

【担当職員の思い】

学校ではできない貴重な体験を、より多くの子どもたちに味わってほしいと思います。6館合同の事業となりました。3年目の今年は6館で協議の上、さらにオリンピック競技にもなっているボッチャなどを含むレクリエーションが考案され、活動メニューに追加する工夫がなされました。色々な形で子どもたちの協調性やコミュニケーション力が育めたのではないかと思います。

違う色、違う形、違う個性が混じり合って、世界に一つだけの素敵なアート作品ができました。アートに彩られた壁面と子どもたちの笑顔は、秋の穏やかな日差しの中で眩しいくらいに輝いていました。

